

らぷらす

ライブラリーニュース Vol.33



新型コロナ対策の日々をつづる

社会が大きな変化の中にあるとき、先が見えない中でも個々人が直面した事実やそのときの思いをつづる日記は、同時代人には他者の視点を提供し、時代を体験する者にとっては理解の大きな手助けになります。2020年1月24日、都市封鎖された武漢からの日記、遅れて感染が蔓延した欧州イタリアからのエッセイ、日本のほか、韓国、ドイツ、アメリカ、イギリスからも集められた日記。今号は、いまだ終息しないコロナ禍を、日記・エッセイを中心に特集して振り返ります。

また、大きく変化する生活の中で、体調不良や人間関係に悩まされることも増えています。コロナ禍の中で、こころとからだのケアに役立つ図書資料を、あわせてご紹介します。

『武漢日記 封鎖下60日の魂の記録』

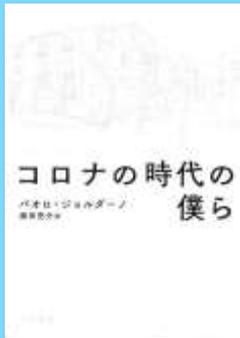
方方 著／飯塚 容＋渡辺 新一 訳
河出書房新社



都市封鎖2日後から、武漢在住の小説家がブログで発信。「私は細々としたことを記録し、その時々感想を書くことしかできない」と、初期に「ヒトーヒト感染はない」とした政府系メディア批判だけでなく、マスク不足や野菜の共同購入など人々の生活や努力を記す。

『コロナの時代の僕ら』

パオロ・ジョルダーノ 著／飯田 亮介 訳
早川書房



イタリア北部で新型コロナウイルスが広がりを見せ始めた時期、2月29日から3月4日までに書かれたエッセイ集。日本語版には、「コロナウイルスが過ぎたあとも、僕が忘れたくないこと」を掲載。流行1ヶ月間を振り返り「まさかの事態」に対峙する。

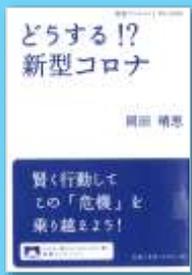
『コロナ禍日記』

辻本力 編
タバックス

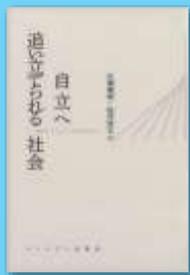


日常生活に密接に関係してくるコロナ禍。作品世界の中で「なかったことにして描くかどうか」自問する漫画家の「コロナ禍絵日記」や、「下北沢にもう2ヶ月くらい行っていない」こともあった新代田のライブハウスの「営業自粛日記」など、16の日記と、編集日記。

「新型コロナ対策」に関連する図書・資料



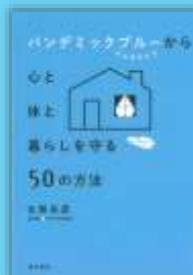
『どうする!? 新型コロナ』
岡田 晴恵 著
岩波書店



『自立へ追いつける社会』
広瀬 義徳／
桜井 啓太 編
インパクト出版会



『セルフケアの道具箱』
伊藤 絵美 著／
細川 韶々 イラスト
晶文社



『パンデミックブルーから心と体と暮らしを守る50の方法』
古賀 良彦 著
亜紀書房

お知らせ

らぷらすホームページの「図書・資料検索」から貸出中の図書資料を予約できるようになりました。詳しくはらぷらす受付でおたずねください。



らぷらす資料コーナー（ライブラリー）利用案内

◆らぷらす資料コーナーでは、およそ2万1千冊の書籍やDVD、行政資料などを所蔵しています。◆運転免許証や健康保険証など、住所とお名前の確認できる書類をお持ちいただければ、その場で利用者登録ができます。◆1回につき3点まで、2週間の貸出が可能です(AV資料1週間まで)。◆貸出中の場合は予約ができます。◆図書資料はらぷらすのホームページから検索可能です。

開館時間	9:00-22:00	休館日	毎月第3月曜日(祝日の場合はその翌日)及び年末年始
貸出時間	9:00-21:30		





『クソ女(アマ)の美学』

ミンソヨン 著／岡崎暢子 訳
ワニブックス

日々の生活の中で心の中で思っただけでも決して言葉にしなかったり、行動に移したりすることのできなかったことがある。自分ではそんなことを言ったりしったりはできない、そんな方もこの本を読んでスッキリ。著者が「私たちはただ、公平であることを願っているだけ」という「クソ女」を漫画とエッセイで描いた。



『ハリエット・タブマン 彼女の言葉でたどる生涯』

篠森ゆりこ 著
法政大学出版局



『おとめ六法』

上谷さくら 著
岸本学 著
Caho イラスト
KADOKAWA

女性



『BLの教科書』

堀あきこ／守如子 編
有斐閣

今や「BLって何？」となる人のほうが少ないほど市民権を得た「BL（ボーイズラブ）」。50年の歴史があるこのジャンルが、どのように生まれ、広がっていったのかを研究した。「BLの歴史と概論」「さまざまなBLと研究方法」「BLとコンフリクト（社会問題とのかかわり）」の3部構成からなるBLの研究手引き書。



『女同士の絆 レズビアン文学の行方』

平林美都子 編著
彩流社



『ミスエデュケーション』

エミリー・M・ダンフォース 著／
有澤真庭 訳
サウザンブックス社

文学



『子ども白書2020』

日本子どもを守る会 編
かもがわ出版

人類がこれまで経験したことの無い危機ともいえるコロナ禍のいま、生活格差、経済的困窮、そして学校に求められる役割と今後など、子どもを取り巻く環境がどのように変化しているのかを各分野の専門家のレポートにより浮き彫りにした。「新しい生活様式」とは？ 子どもたちの未来とは？ を考える手掛かりとなる一冊。



『令和2年版 男女共同参画白書』

内閣府男女共同参画局 編



『女性白書2020 ジェンダー不平等を超える「北京+25」』

日本婦人団体連合会 編
ほるぷ出版

白書

児童書

『兄の名は、ジェシカ』

ジョン・ポイン 著
原田勝 訳
あすなる書房



兄のジェイソンは僕のヒーロー。ある夜、家族の前で「自分はおまへの兄さんじゃない。ほんとうは姉さんなんだと思う」と告白した。僕の兄さんが家族に受け入れられ姉さんのジェシカになるまでの葛藤を描いた物語。

コミック
エッセイ

『博論日記』

ティファンヌ・リヴィエール 作
中條千晴 訳
花伝社



風刺の効いたフランス漫画（パンドデシネ）。博論完成を目指すジャンヌが不条理に振り回される姿は研究対象のカフカ作品とオーバーラップする。文系院生を取り巻く環境の苦難と悲哀が世界中の共感を呼んだ。

DVD

『感染列島』

瀬々敬久 監督
日本 2009年



感染者数1千万人、ブレイムと名付けられた謎のウィルスに立ち向かう人々の壮絶な戦い。パンデミック初期の誤情報、経済活動の停止、医療現場の混乱を描くパニックエンタテインメント。

